

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲 だより

2021
12月
No.91



兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)



[AGMCニュース ～心臓特集～]

小児心臓手術も低侵襲で！「低侵襲」と「美容的」の両立
“兵庫県初”透析患者さんのTAVI実施施設に認定
CCUが専門医研修施設に認定されました

- ぶらり～っと病院探訪
- マスク着用のご協力をお願いします
- 面会禁止のお願い
- 患者の権利・義務憲章



AGMC ニュース 心臓特集①

小児心臓手術も低侵襲で!

「低侵襲」と「美容的」の両立

成人の心臓治療においては、胸腔鏡を用いた手術、カテーテルでの弁膜症治療や人工血管留置など様々な低侵襲手術（体へのダメージが少ない手術）への取り組みを行っています。

当院では、小児でもこの「低侵襲手術」に対する取り組みを長年行っていますので、それを紹介させていただきます。

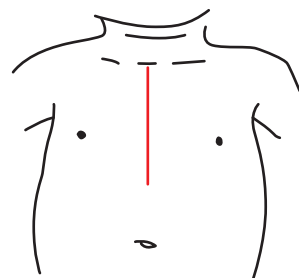
●胸骨部分切開によって右図のようにかなり小さな傷になります。

これまで（2004年9月から2021年8月まで）に335例の小切開手術を行い、99%以上の完遂率で手術を行っています。

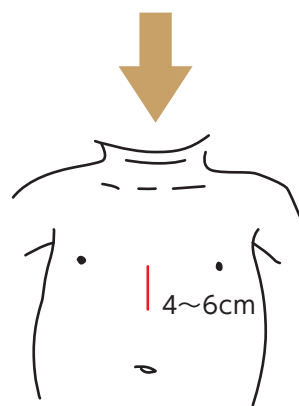
「イブニングドレスを着ても見えない」というコンセプトのもと、皮膚に対する影響を最小限にするためにオリジナル牽引器具も作成して取り組んでいます。



小切開の術後



通常の胸骨切開



当院での小切開手術

<自己血貯血> ～無輸血手術～

「低侵襲」を 自分の血を貯めておいて（自己血貯血）、他人の血液を使わない（無輸血）手術も15年以上徹底するために、おこなっています。

自己血貯血はおよそ3週間程度かけて少しずつ行うので、手術にはほとんど貧血がない状態で臨むことができます。手術直後にも貧血がほとんどない状態で、術後は速やかに回復することができます。これが自己血貯血の最大のメリットです。さらに、自分の血液を投与するので、アレルギー反応が起こることはまずありません。



心臓血管外科メンバー

病気の状態、体の大きさなどにより小切開手術が適用できるかどうか判断します。

当院には小児科、心臓外科に先天性心疾患チームがあり、専門的な診療を行っています。疑問点がありましたら、お気軽にお尋ねください。

当院の小切開手術については、ホームページもご参照ください。

AGMC 小切開





AGMC ニュース 心臓特集②



兵庫県で最初の 『透析患者さんに対するTAVI実施施設』に認定されました 大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療 TAVI

TAVIはこれまで透析患者さんについては対象外とされてきましたが、エドワーズ社製のSAPIEN3弁が本年前半に国内で適応認可を受けました。しかしながら実施するための施設基準はハードルが高く、当初は近畿圏では3施設限定での開始となり、9月末の時点でも4施設のみで、残念ながら兵庫県には認可施設は存在しませんでした。このたび10月に当院が兵庫県で最初の透析患者さんに対するTAVI実施施設に認定され、11月から複数名の患者さんの治療に成功しております。

経カテーテル的大動脈弁留置術

Transcatheter Aortic Valve Implantation ; TAVI

TAVI(タビ)とはカテーテルを使って人工弁を患者さんの狭くなった大動脈弁の中に留置する手術法で、従来の手術と異なり心臓を止めずに治療可能で、体への負担が軽いのが魅力です。



当面の期間は当院が県内で唯一の実施可能施設となりますので、今回の認可は県民の健康を守ることを最大の目的とする県立病院として大きな意義があるとともに、大きな責任も感じています。今後は阪神地区のみならず県内広域から患者さんを受け入れる体制作りを進めてまいります。

当院は2020年1月に兵庫県初の『TAVI専門施設』として認定され、その後もハートチーム一丸となり邁進を続けてきました。今後も更に質の高いTAVIを求めて改良を続けたいと思います。

当院のホームページもご参照ください。

AGMC TAVI



同じ時期にSAPIEN3弁のプロクターに選出されました。プロクターとは自施設だけでなく他施設での手術指導を認可された医師であり、全国でも少人数で兵庫県では1人だけです。今後当院はもちろん国内全域での本治療の発展・普及に尽力いたします。

TAVI指導医
循環器内科部長 当麻 正直

透析患者さんは大動脈弁や全身血管の石灰付着のためにTAVIのリスクが高いとされますが、術前・術中・術後のエコーやCT画像を詳細に分析することで安全な治療が提供できるよう全力でサポートいたします。

TAVI画像解析責任者
循環器内科部長 宮本 忠司

透析患者さんは血管性状が悪いことが多く、TAVIの基本となる鼠径部からの人工弁挿入が困難な場合がありますが、その時は心臓血管外科が他部位を小切開して挿入部位を確保し治療を可能にしますので、おまかせください。

心臓血管外科部長 田村 暢成

透析患者さんは重症な方が多いですが、TAVI術中の全身管理は我々麻酔科医が全力で対応させていただきます。痛みを感じず、知らない間に終わっているよう管理しますので、ご安心ください。

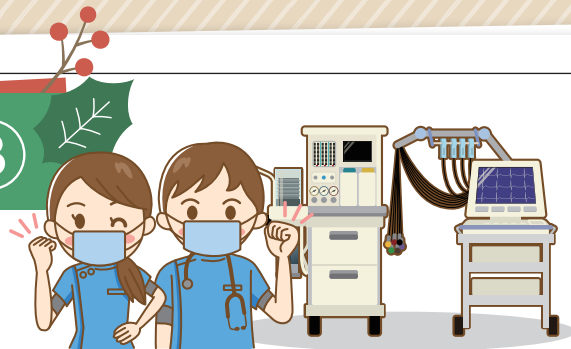
TAVI担当麻酔科医
麻酔科医長 岡澤 佑樹、至田 雄、前川 俊

透析患者さんにとって大動脈弁狭窄症は透析困難の原因となる困った病気であり、カテーテル治療が可能となったことは大きな福音かと思います。手術前後の透析管理は我々腎臓内科ならびに透析センターにおまかせください。

腎臓内科部長 竹岡 浩也



AGMC ニュース 心臓特集③



CCUが 「専門医研修施設」に 認定されました!

心血管疾患専用の集中治療室 (CCU) は8床あり、
特定集中治療管理を行っています。

CCUでは人工呼吸管理、血液浄化療法に加えて各種の補助循環装置である大動脈バルーンパンピング (IABP)、経皮的心肺補助装置 (PCPS)、IMPELLA補助循環ポンプの管理を行います。また心臓停止後の症例に対しては低体温療法も行います。

このCCUでは急性期から早期離床・社会復帰を目標に栄養管理、鎮静・鎮痛・せん妄管理、心臓リハビリテーション、PICS (Post-intensive Care Syndrome) 予防などを多職種チーム医療 (医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士と連携) として行っています。全国的にこのような取り組みを行っているCCUはほとんどありません。

専門医 研修施設とは CCUで研修することで集中治療専門医の資格を
取得できることを意味しています。

現在全国に372施設の専門医研修施設がありますがその中で循環器内科が運営しているCCUで認定されている施設は4施設のみであり、全国的にも数少ない施設となります。



重症患者さんの治療および早期の社会復帰においては病院の総合力が問われており、多職種で質の高い医療を提供できるように取り組んでいます。質の高い医療を提供できるようにスタッフ一同頑張っていく所存ですのでこれからもよろしくお願いいたします。



ぶらり〜っと
病院探訪

AGMCギャラリー

当 院外来ロビーや各病棟には、多くの方からのご寄附による絵画作品が飾られています。

今回は、これらの作品のうち、ごく一部ですがご紹介させていただきます。紙面にて、ちょっぴり芸術散歩をお楽しみください。



給食室の朝
山下 審也



慈愛
石島 通子



寂寥
石島 通子



行く秋
小林 晟



風薫る
石島 通子



ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れております。

皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●寄附の使途

ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●寄附のお申し込み・お問合せ先

兵庫県立尼崎総合医療センター 総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)



DONATION

お知らせ掲示板



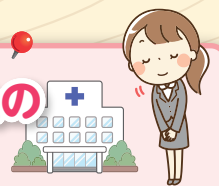
不織布マスクの正しい着用をお願いします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。

入院中の患者さんにつきましても、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いしております。

なお、ウレタン、布マスクでは著しく感染防護効果が落ちることが知られていますので、入院時には、ウレタン、布マスクではなく、不織布マスクの準備をしていただきますようご理解、ご協力をお願いします。

面会禁止のお願い



当院では面会を全面的に禁止しております。なお、患者さんの着替えなどの荷物の受け渡しは病棟職員が対応しますので、防災センターにお声がけください(11時～18時)。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

理念

高度・良質な医療による社会貢献

基本方針

- 阪神地域中核病院としての「高度専門・救急医療」
- 患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
- 救急・紹介を「断らない医療」
- 住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
- 医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」

患者の権利・義務憲章

患者さん・医療者共に協力して「患者さんの権利」と「患者さんの義務」を尊重し守る

【患者の権利】

1. 公平に医療を受ける権利
社会的な地位、疾病の種類、国籍、宗教などにより差別されことなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利
2. 一人の人間として、尊重される権利
各々の人格、価値観が尊重され、患者・医療者が互いに協力して、医療をつくり上げていく権利

3. 納得医療の権利

医療提供者から説明と情報提供を受ける権利／自分の意志で治療方法等を決定する権利／希望しない検査や治療を断る権利

4. セカンドオピニオンの権利

複数の専門医等の意見を求める権利／他の医療機関に変わることもできる権利

5. 診療情報の提供を求め、自分の意見を述べる権利

6. プライバシー保護の権利

診療の過程で得られた個人情報を守られる権利

7. 臨床研究についての権利

目的・危険性について情報提供を受ける権利／参加するかどうかを決める権利／途中で中止を求める権利／参加しなかった場合でも不利益を受けない権利

【患者の義務】

1. 医療者側に情報を知らせる義務、理解できるまで質問する義務
家族の状況、既往歴、病状の変化、現在の症状等を、正確に知らせる義務／医師等の説明で、よく理解できない点を理解できるまで質問する義務
2. 医療に意欲を持って取り組む義務
合意した検査・治療方針に自ら意欲をもって取り組む義務
3. 規則と指示を守る義務
病院内の規則や指示を守り、他の患者に支障を与えない義務／不利益を受けない権利



編集後記

気づけば12月も残りわずかとなりました。あまりの早さに毎年びっくりしてしまいます。師走と呼ばれる忙しい月ではありますが、クリスマスに年末に、12月にしか味わえない雰囲気も楽しみたいですね。やり残したことなどを片付けて、新年を気持ちよく迎えられようになりたいと思います。



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索